東アジア近現代における 人や学知とその展開

安田淳・平岩俊司責任編集 近現代東アジア研究叢書編集委員会/ 国立台北大学歴史学系共編

嵯峨隆 高田幸男 林志宏 林文凱金明洙 羅国暉 鴋澤歩 林采成 姜成宇 蔡龍保 村上拓哉 平岩俊司 角崎信也/著

> 霞山アカデミー 近現代東アジア研究叢書

目 次

序	安田	淳(慶應義塾大学法学部教授・霞山会版責任編集者)	7
第	1 音	『東アジアにおける人の役割	
第1	-	根津一のアジア主義について	
	嵯峨	隆(静岡県立大学名誉教授)	**
第 2	章	第二次大戦前のアジア人日本留学	
	高田	幸男(明治大学文学部教授)	**
第 3	章	日本の技術官僚と満洲国	
		― 道路建設と戦後土木学の学知との交流	
	林	志宏(中央研究院近代史研究所副研究員)	**
第	2 音	『東アジアにおける学知の役割治 』	
第 4	章	地域知識と行政権力	
		――「間島」の調査活動と地方志記述に見る	
		日中両国の統治の知 (1905-1931)	
	林	文凱(中央研究院台湾史研究所副研究員兼副所長)	**
第 5	章	第一次世界大戦期における韓相龍の	
		日本・台湾視察と内面化した植民主義	
	金	明洙(啓明大学校人文国際学大学日本語日本学科教授)	**

第6章	軍事化された公民概念	
	――日中戦争初期の上海ボーイスカウト	
र म	国暉(国立台北大学歴史学系助理教授) *	*
44 (立ては中央主ラングラのファンフェアキュロ	
弗、	部 近現代東アジアのインフラ建設	
笙 7 =	軍戦前・戦中期在ベルリン日本人鉄道職員	
N3 1 -	――「ドイツ経験 は何をもたらしたか	
		ale.
).	睪 歩 (大阪大学大学院経済学研究科教授) *	•
第8章	日中戦争期における鉄道省派遣団と華中鉄道軍管理	
1	采成(立教大学経済学部教授)	*
第9章	「同床異夢」	
	―-ソウル-プサン間鉄道建設における競争と協調の力学	
Ē	成宇(忠南大学校国際関係学部教授)*	*
第10章	1960年代後期、台湾における円借款とインフラ事業の進展	
	――曽文ダムを例として	
4	龍保(国立台北大学歷史学系教授)*	*
쑠	部 現代アジア情勢の新たな視点	
5万4	明、現代プラブ用労の利には税品	
空11 =	東アジアと中東――エネルギー協力から戦略的関係への変遷	
		*
1	上拓哉(中東戦略研究所代表/シニアフェロー) *	

第12章 北朝鮮の新冷戦構想とロ朝接近	
――中朝友好協力相互援助条約とロ朝パートナーシップ条約	
平岩俊司(南山大学総合政策学部教授)	***
第13章 習近平の抗日戦争と抗日戦争研究	
角崎信也(一般財団法人霞山会主任研究員)	***
紹介	
近現代東アジア研究叢書書評	
『東アジア社会をつなぐ越境、脈動する文化』	
(小山三郎責任編集•一般財団法人霞山会)	
嵯峨 隆(静岡県立大学名誉教授)	***
凡例	***
あとがき	
平岩俊司(南山大学総合政策学部教授•雷山会版青任編集者)	***